

# 響の だより

〔ひびきのもりだより〕

2025.3.21  
vol. 81



ミツマタの花が  
春の訪れを教えてくれる

## 氷ノ山フィールドノート

響の森周辺・登山道の自然情報記録よりピックアップして紹介します。



### 1/13 鳥の糞

ヤドリギの実を食べたと思われる鳥の糞。糸を引き木の枝に絡みついています。運よく種子が枝に付着すると発芽して、ヤドリギが育つかも知れません。

### 雪の当たり年でした

- 11/19 氷ノ山初冠雪
- 11/23 響の森周辺で雪降り
- 12/14 50cmほどのふかふか雪
- 2/7・8 寒波到来！積雪150cm以上
- 2/22 寒波第2波 積雪2m超！

### 悲しいお知らせ（森の小さな水族館）

- 1/ 9 カワムツ死去
- 1/30 水槽から脱走したモクスガニの死体を発見

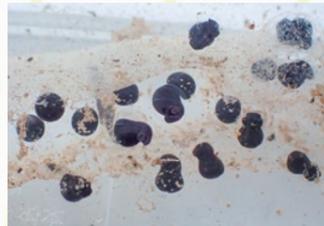


# 私の押しガエルはヒキガエル

森の哲学者  
ヒキガエル



紐状の卵塊



発生が進んだ卵



子ガエル



ヒキガエルに食らいつくヤマカガシ

待ち遠しい春がやってきました。春になったら毎年やること、お花見、イモリの溝の掃除、イモリの健康診断、新学期の準備・・・と色々ありますが、その中のひとつに「ヒキガエルの卵探し」があります。

氷ノ山では、雪が溶けて水たまりができた頃がベストシーズン。林道を歩いていると、水たまりに紐のような透明のゼリー状の卵塊が見つかります。長いものでは紐の長さは2mにもなるそうです。紐の中にはヒキガエルの卵。その数なんと1万個(個体差有り)!! 産卵直後の卵はまだ丸く、時間がたったものは少しずつ卵割が進み、形が変形しています。雪解けの冷たい水の中で寒くないのかなぁと思いますが、ヒキガエルの卵も、オタマジャクシも真っ黒。黒い色で太陽の光を集めちょっとでも温まろうという作戦なのかもしれません。ちなみに、岩の影などに卵を産むタゴガエルの卵は白い色をしています。

卵は約1週間でオタマジャクシになります。親の大きさが8~15cmとカエルの中では大型なので、さぞ大きな子ガエルになるのだらうと思ったら、なんと1cm弱の小さな小さな子ガエルになります。アマガエルの子の3分の2の小ささ

です。雪解けの水たまりのような場所では、オタマジャクシのままのんびりしていると水が干上がってしまうので、ちょっとでも早くカエルになって、水が無くても生きていけるようにというヒキガエルの「作戦その2」です。

運が良ければ産卵待ちで水たまりに来ている大人のヒキガエルに出会うこともあります。産卵場所で出会うヒキガエルは、普段見る時よりちょっとふやけてプニョツとして、シワシワしています。水中で頑張った証拠です。ヒキガエルのオスも他のカエルと同様、繁殖期にはメスを呼んで鳴きますが、鳴嚢(鳴き声を出す袋)が無いので、小さく、かわいく、クッククック・・・と鳴きます。大きな体に似合わず、かわいい声です。このギャップがたまりません。場所によっては「蛙合戦」といって、複数のカエルが集まり、もみくちゃになりながら産卵することもあるそうです。私は残念ながら氷ノ山では見たことがありません。氷ノ山のヒキガエルの数が少ないからでしょうか。最近、発見する卵塊の数も減っている気がするので、少し心配です。

大人のヒキガエルに出会うなら夏の沢です。苔むした岩の上に鎮座しているのをよく見かけます。響の森のエコツ

アーでわさび谷に行くと、多い時には10匹ものヒキガエルに出会うことができます。わさび谷のコースは、諸我溪谷のコースに比べて羽化した水生昆虫が沢山飛んでいます。わさび谷のヒキガエルは水から出てくる水生昆虫を狙っているのでしょう。じっと動かず川を見つめるその姿は思索にふける哲学者のような渋さです。英語では多くのカエルはfrogですが、ヒキガエルはtoadと言います。他のカエルとはちょっと違う、特別感をヒキガエルに感じるのは私だけでしょうか。

ヒキガエルはプフォトキシムという強い毒を持っています。生き延びるための「作戦その3」です。この毒で身を守っているわけですが、毒があるから無敵、というわけにもいきません。氷ノ山にいる毒ヘビ、ヤマカガシは毒をもともせず、ヒキガエルを食べてしまいます。あろうことか、その毒を自分の体に取り込み、頸腺毒として利用しています。

かっこよかったり、かわいかったり、ギャップに萌えたり、魅力たっぷりのヒキガエル、まずは春の卵探しに出かけましょう!

(岡田)

## Speacial Issue

# あんなこと、こんなこと



## おためしスキートレッキング 1/11(土)



クロスカンリースキーが初めての方むけの体験イベント。最初は傾斜が緩いコースで歩きや滑り降りの練習。慎重な大人に対して子どもたちは初めてとは思えないほど上手に歩き、大胆に滑っていました。慣れてくると除雪していない道路を近くのスギ林付近までお散歩し、クロスカンリースキーを満喫していました。



## 雪と遊ぼう 1/19(日)



今年はたくさんの雪に恵まれ1年ぶりに【雪と遊ぼう】が開催できました。普段平地ではなかなか味わうことのできないたくさんの雪を見て、大人も子どももたくさん笑顔があふれていました。かまくらづくりにそり遊び、お昼ご飯も自分たちの作ったかまくらで食べてもらい、雪を堪能するスペシャルな1日を味わっていただきました。

## 響の森インタープリターのイチ押し情報



### くつろぎコーナー

積雪でこんな感じですが、この響の森だよりが届くころには東山をはじめ遠くに雪を頂いた山々の雄大な眺望が楽しめます。本や楽しい絵本、パズルなどもあり、ふらっと来てくつろぐもよし、家族で楽しむもよし、また持参したお弁当を食べていただくのもよし、穏やかな山の雰囲気を楽しみながらゆったりできる一押しコーナーです。

Highly Recommended

## クルー活動紹介

※クルー：響の森ボランティア

### 11月~2月の活動内容

- キノコの観察会補助(2)
- 味噌作り補助(1)
- 森のようちえん+補助(2)
- 雪と遊ぼう写真撮影(2)
- 親子自然研究クラブ補助(1)
- 植物情報提供(2)

( )は延べ人数



### 馴染んでますね!

味噌づくりでの一コマです。中央のバンダナおじさんが材料を配るクルーの梶川さん。毎度毎度ありがとうございます。スタッフ顔負けの大活躍。お姿が馴染んでいます。

Activity Report

## 大人の趣味講座「おためしスノーシュー」 2/1(土)



今年度より開催している【大人の趣味講座】シリーズ。今回はスノーシューという名前は知っているけれど、履いたことがないという大人の皆さんにスノーシューハイクを体験してもらいました。「沈まなーい!」「すごい!」と感動の声からスタートし、動物の足跡や冬芽を観察しながら、途中でお尻すべりもして、ゆっくりとスノーシューを満喫してもらいました。

# イベントカレンダー 2025年4月～6月

4月	5日(土) 6/29日(日)	いつでも作れるコーナー ・生き物アプラバンキーホルダー	土日祝のみ
	6日(日)	森のようちえん+(プラス)	
	20日(日)	親子自然研究クラブ 「ヒキガエルの産卵調査」	
ネイチャーキッズフェスティバル	26日(土) 5/6日(日)	移動木育広場で遊ぼう!  クマさんバッジづくり 森の木バッジづくり	
	26日(土) 27日(日)	五平餅をつくろう	予約優先
	29日(日)	ポップコーンをつくろう	予約優先
	3日(土) 4日(日)	カートンドックをつくろう	予約優先
	5日(月)	大人の趣味講座 「アウトドアシーンにぴったり! 気になるメイクのお悩み解決法」 時間/ 11:10:00～10:45 11:11:00～11:45 料金/ 500円 定員/ 各回20名 協力/ i-dee	要申込
5月 ネイチャーキッズフェスティバル	5日(月) 6日(火)	くるくるスネークパンを焼こう	予約優先
	11日(土)	スペシャル観覧会 「春の植物観察」	
	17日(土)	親子自然研究クラブ 「ヘビの観察」  大人の趣味講座 「刃物研ぎ講座」	
	18日(日)	スペシャル観覧会 「野鳥観察」	
	24日(土)	棚田プロジェクト「田植え」	
	31日(土)	森のようちえん+(プラス)	

6月	1日(日)	アウトドアクッキング 「ピタサンドをつくろう」 時間/ 10:00～14:00 料金/ 大人 2,000円 小中学生 1,000円 定員/ 6組 協力/ もりのひと	要申込
	8日(日)	登山 「若杉天然林を訪ねよう」 時間/ 9:00～15:00 料金/ 1,800円 定員/ 20名 	要申込
	14日(土)	親子自然研究クラブ 「棚田の生き物観察」	
	15日(日)	棚田プロジェクト「草取り」	
	21日(土) 22日(日)	スペシャル観覧会 「響の森ナイトミュージアム」 時間/ 21日 19:00～22日 8:30 料金/ 3,000円 定員/ 20名 対象/ 小学生以上 	要申込
	29日(日)	森のようちえん+(プラス)	

## Recommended Books 森のオススメ本

### ぼくらはもりのダンゴムシ

子どもたちに人気者のダンゴムシ。そんなダンゴムシはどのように生活をしているかご存じですか? この本はダンゴムシ目線で描かれており、まるで自分がダンゴムシになったかのような気持ちになれます。コンクリートを食べてカルシウムを補給したり、赤ちゃんを産むときどうするのかなど、子どもだけでなく大人もへえとなること間違いなし。優しくもリアルな絵のタッチがまた夢中にさせてくれます。ニッチで奥深いダンゴムシの世界をお楽しみください。



【著者】まつおかたつひで  
【出版社】ほるぶ出版  
【定価】1,375円(税込)

## Information

### イチ押しイベント

### 野鳥観察



ゴールデンウィークの頃は里や郊外ではなかなか見ることができない夏鳥のカッコウやオオルリなどがやってきてとても賑やかになります。響の森では日本野鳥の会鳥取県支部と共催で毎年恒例の野鳥観察を開催しますので春の風を感じながらさえずりを聞き、運が良ければ姿も確認できる絶好の機会、ぜひご参加ください。

## お問い合わせ TEL (0858) 82-1620

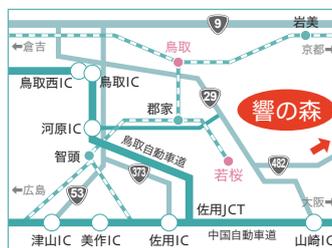


(一財) 鳥取県観光事業団

〒680-0728 鳥取県八頭郡若桜町つくよね635-175  
TEL (0858) 82-1620 FAX (0858) 82-1612  
[E-mail] info@hibikinomori.gr.jp  
[HP] https://www.hibikinomori.gr.jp/

開館時間/ 午前9時～午後5時

休館日	4月～9月	10月・11月	12月～3月
	月曜日	月・火曜日	月～水曜日
	夏休み 期間中は無休		12/29～1/3
	祝日の場合は翌日休		



●雪、3m弱降りました。編集後記  
まあ正常形ですね。大雪で中止となったイベントも。雪はもういいかな? お次は・は～るよ来い。は～やく来い。(松平)  
●何回やっても、毎回楽しい雪山イベント。やる度に新しい面白さを発見!(岡田) ●響の森に来て初めての冬。想像以上に降る雪に大興奮の毎日でした!(山根) ●GWは「移動木育広場」開催! 子どもはもちろん大人も童心に返って遊んでください。(高橋)